

* 広報あきた3月4日号5ページに掲載した事業案は、市議会ですべて議決されました。



ちから “力”入れます！ 5つの成長戦略

新たな総合計画の中で、特に力を入れていく分野として5つの成長戦略を定めています。新年度予算は、これら成長戦略に重点的に配分

し、限られた財源の有効活用に努めました。6・7ページでは、新規事業を中心に戦略ごとのおもな事業と予算をお知らせします。

● 新規事業 ○ 既存事業 / 金額は千円以下四捨五入

戦略1 「地域産業の振興と雇用の創出」 (全32事業・62億5千305万円)

- 資格取得助成事業：就職やキャリアアップ(能力向上)に役立つ資格取得費用を助成▼740万円
- 海外展開促進事業：市内企業の国際コンテナ貨物利用や海外での販路活動費への支援▼500万円
- 一歩先行く農業法人フォローアップ事業：法人設立後の支援の充実と新たな法人の発掘▼473万円
- 乳和牛増産支援対策事業▼209万円
- アンダー35正社員化促進事業▼平成27年度債務負担行為設定(※)
- 中小企業金融対策事業：融資あっせんなど ▼48億8千808万円
- 6次産業化等関連事業：平成27年度2月議会に「補正予算(追加提案)」として前倒し提案

戦略2 「芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上」(全22事業・5億4千930万円)

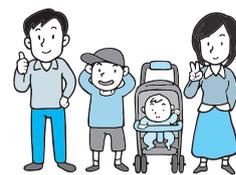
- オール秋田「食と芸能」大祭典開催経費 ▼1千500万円
- ラグビーワールドカップ2019キャンプ地誘致事業▼296万円
- (仮称)あきた芸術祭検討経費▼250万円
- 中心市街地文化創造発信事業▼4千904万円
- 県・市連携文化施設整備推進経費▼1千181万円
- 国民文化祭アフターイベント開催経費 ▼1千463万円

戦略3 「豊かな自然をいかした環境立市の確立」(全14事業・2億1千869万円)

- 自然環境体験活動促進事業：豊かな自然を活用した体験教室などの開催▼100万円
- ホタル生息環境保全事業▼60万円
- 使用済小型電子機器等分別回収事業▼274万円
- 未来の暮らし創造事業(ライフスタイル変革事業)：講演会などの開催▼45万円
- ごみ減量対策事業▼3千105万円
- メガソーラー事業：総合環境センター敷地内でのメガソーラー発電を継続▼7千380万円
- 市営住宅共用部照明LED化事業▼3千137万円

戦略4 「子どもを生き育てやすい社会づくり」(全23事業・8億8千81万円)

- 第2子保育料無償化事業 ▼6千877万円
- 妊娠期からの相談支援事業(秋田市版ネウボラ)▼653万円
- ふたりの出会い応援事業(シングルズカフェ秋田)▼620万円
- 3歳未満児定員拡大推進事業▼2千304万円
- 病児・病後児保育事業(病児対応型)▼2千114万円
- 妊産婦保健事業：健診など▼2億3千234万円
- 放課後児童健全育成事業：市内37か所の放課後児童クラブの運営委託▼2億3千859万円
- 児童館等整備事業：老朽化した八橋児童館を八橋小学校敷地内に改築▼1億1千119万円



戦略5 「いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり」(全18事業・16億5千217万円)

- ねんりんピック秋田2017開催準備経費：来年9月開催▼1千511万円
- 認知症地域支援推進員配置経費▼2千933万円
- 生活支援コーディネーター・協議体設置経費 ▼1千347万円
- がん検診等事業▼2億3千383万円
- 予防接種事業▼6億7千280万円
- エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)推進事業：市民活動団体の支援など▼219万円
- 高齢者コインバス事業▼1億2千414万円

※債務負担行為＝一つの事業が複数年度に渡る場合に、あらかじめ予算の支出が議会で承認されていること

成長戦略

気になる事業ワンプoint解説!



アンダー35正社員化促進事業

非正規雇用の正社員化を促し、若年者の地元定着を図ることが目的です。市内在住の35歳未満の非正規雇用者を正社員に転換した市内事業者に対して、対象となる労働者1人につき年20万円を3年間助成します。詳しくは左記ホームページをご覧ください。
<http://www.city.akita.jp/wp/impr/article/4861/>

オール秋田「食と芸能」大祭典開催経費

6月4日(土)・5日(日)に開催。県内の芸能・祭り・行事・食を集結するイベントを開催し、秋田の夏まつりへの誘客を図るとともに、県内の広域的な観光PRを行います。

中心市街地文化創造発信事業

郷土の偉人を題材に昨年実施した、わらび座ミュージカルの第2弾として、今年は「石川理紀之助」をテーマに11月から2月まで上演予定。



昨年上演した「政吉とフジタ」は8月から12月までのロングランで、観覧者数約2万3千人にのびりました!

すくすくのびのび
 \(\(^o^)/

第2子保育料無償化事業

現在第1子のお子さんがいる世帯で、平成28年4月2日以降にお子さんが生まれた世帯を対象として、一定の所得制限のもと第2子以降の保育料を無償化します。詳しくは、子ども育成課へお問い合わせください。
 ☎(066)2094



妊娠期からの相談支援事業

(秋田市版ネウボラ)

妊娠期から子育て期にわたるまでのさまざまな相談などに対して、総合的な支援を提供する「ワンストップ」拠点を、子ども健康課(八橋の市保健所内)に設置します。10月開設予定。
 ☎(066)1174

*ネウボラフィンランドの子育て支援拠点。

ふたりの出会い応援事業

(シングルズカフェ秋田)



20歳・30歳代の独身男女を対象に出会いの場を提供します。2月に開催した「お試し版」では、延べ358人が参加しました。次回開催は5月の予定です。詳しくは、子ども総務課ホームページをご覧ください。
<http://www.city.akita.jp/city/ch/bs/>

ごみ減量対策事業

各種事業を通して、ごみ減量・リサイクルへの取り組みを促します。おもな活動は、資源回収を行う団体などへの奨励金の交付、ごみ減量・分別説明会の開催、事業系ごみ減量の啓発、冊子「ごみの分け方出し方手引き(平成28・29年度版)」の作成など。



メガソーラー事業

総合環境センター敷地内で、引き続きメガソーラーによる発電を行います。平成25年10月の稼働開始から、昨年未までの累積発電量は約480万kwhで、一般家庭の月あたりの消費電力にすると約1万6千世帯分になります。



認知症地域支援推進員の配置

地域包括支援センター運営事業の一環として、認知症に関する地域の医療・介護などのネットワークの構築や相談体制の充実を図るため、「認知症地域支援推進員」を配置します。

がん検診等事業

胃がん、胸部、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん、骨粗しょう症、歯周疾患の各検診を実施します。加えて、乳がん・子宮頸がん・胃がん・大腸がんの各検診に、市独自の割引制度を取り入れるなどの拡充を図ります。

その他の事業は次のページに続きます